

令和2年度農作業安全総合対策推進事業  
鳥取県西部地区における農作業安全に係わる対話型研修会 報告書

## 1. 概要

令和2年11月10日、鳥取県西部地区（日野郡日野町）において農業法人等を対象に、鳥取県西部地域農作業安全・農機具盗難防止協議会主催、鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会並びに（一社）全国農業改良普及支援協会の共催による農作業安全に係わる対話型研修会を開催した。鳥取県西部地区内では、令和元年度に続く2事例目<sup>\*</sup>の対話型研修会の開催となる。

本研修会では、西部地域農作業安全・農機具盗難防止協議会の事務局を務める鳥取県西部総合事務所農林局農林業振興課が進行役を務め、農研機構 農業技術革新工学研究センター（以下、革新工学センター）研究員及び労働安全コンサルタント（農作業安全アドバイザー）が助言を行った。また、その場でヒヤリハットアンケート（別紙参照）を実施するとともに、屋外で参加者が持参した刈払機などを使用した現地点検を行い、農業機械の安全な使用のポイントに係わる活発な意見交換を行うとともに、気づきやノウハウ等の情報共有が図られた。

※本事業を活用した事例として。

## 2. 開催日時

令和2年11月10日（火）10：00  
～12：00

## 3. 開催場所

リバーサイドひの（日野郡日野町下榎 1183）

## 4. 参集者

日野町内農業法人、アグリサポートひの、  
JA鳥取西部、日野町、日野町農林振興公社、  
農研機構 農業技術革新工学研究センター、  
労働安全コンサルタント（農作業安全アドバイザー）、  
（一社）全国農業改良普及支援協会、  
鳥取県（農業振興戦略監とっとり農業戦略課、  
西部総合事務所）

## 5. 対象組織

アグリサポートひのは、日野町農林振興公社が窓口となり、アグリサポーターと呼ばれる地域の農業者らをメンバーとし、日野地区内の農地の草刈り作業などを受託している。



写真1 研修会の様子



写真2 現地点検の様子

2020年6月に発足以来、13名のメンバーが37件の作業を実施。草刈り作業に当たっては、各自が所有する刈払機のほか、農林振興公社が用意するウイングモア（オーレック WM757P）、スパイダーモア（オーレック SP852AF）を共同利用している。

## 6. 出席者 ※敬称略

- ・日野町内農業法人、アグリサポートひの  
日野町農業委員会の長住武美会長を含む9名
- ・労働安全コンサルタント（農作業安全アドバイザー）  
（（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会 島根支部） 樋野 和夫
- ・（国研）農研機構 農業技術革新工学研究センター  
安全工学研究領域 安全技術ユニット 積 栄
- ・（国研）農研機構 農業技術革新工学研究センター  
安全工学研究領域 安全技術ユニット 紺屋 朋子
  
- ・JA鳥取西部 小林 靖教
- ・JA鳥取西部 宮本 隆宏
- ・日野町農林振興公社 遠藤 博文
- ・日野町産業振興課 山縣 実
- ・日野町企画政策課 谷口 智佳子
  
- ・鳥取県とっとり農業戦略課 研究・普及推進室  
専技主幹（農業革新支援専門員） 宮田 邦夫
- ・鳥取県西部総合事務所農林局 石田 郁夫
- ・鳥取県西部総合事務所農林局 西條 由紀
- ・鳥取県西部総合事務所日野振興センター 松原 順子
- ・鳥取県西部総合事務所日野振興センター 福本 由美
- ・鳥取県西部総合事務所日野振興センター 加賀田 淳
- ・鳥取県西部総合事務所日野振興センター  
日野振興局 日野農業改良普及所 小椋 真実

## 7. 冒頭あいさつ（要旨）

長住会長は、草刈り作業においては、作業時間のほか、刈る高さ・刈り後の見た目など仕上がりが具合も大事だが、安全が第一。研修会を通じて、注意点を学び、安全でスムーズな作業につなげてほしいと挨拶された。



写真3 長住会長のあいさつ

## 8. オリエンテーション

西部総合事務所日野農業改良普及所の小椋改良普及員は、オリエンテーションとして研修会の流れについて紹介した。



写真4 小椋改良普及員によるオリエンテーション

## 9. ヒヤリハットアンケート

西部総合事務所の西條係長は、刈払機を中心に、機種共通項目も合わせた「ヒヤリハットアンケート」をその場で参加者に実施した。

共通して多く挙げられた項目（下記参照）に基づき、気づき等の意見交換を行った。



写真5 進行役を務める西條係長

### ●刈払機

- 「足元の傾斜が大きく、滑りそうになった」
- 「刈払い作業をしている場所に空き缶などが落ちていた」
- 「足元の凸凹などで足を取られたりつまずいたりして、転びそうになった」
- 「つい保護めがねをしないで作業してしまった」

### ●機種共通

- 「衣服が操作レバーに引っかかった」

### ●その他

- ・ロータリーハローの刃を交換する際に、ロータリーが頭に落下し負傷した。
- ・伐採作業時に、しなった木が鳩尾に当たって転倒した（幸い、手にしていたチェーンソーによるケガはなかった）。
- ・同じく伐採作業時に、木がはね返って前歯が折れた。
- ・急傾斜地での伐採作業時に、転がり落ちてきた木が当たり負傷した。

(気づき)

- ・急傾斜地が多く、足元は「靴」の工夫をしている。  
アイゼンを装着している。  
石が多くアイゼンが難しいところでは、小段を設けている。  
石垣が多いところでは、ナイロンコードを使用している。
- ・時間に追われて、焦っている時こそ危ないと感じる。

(助言)

- ・背負式の刈払機は、キックバックのリスクが高い。  
ナイロンコードを使用した方がリスクは抑えられる。

## 10. 現地点検

屋外に移動し、刈払機やウイングモア、スパイダーモアを使用して実際に草刈り作業を実施した。

参加者に対し、積ユニット長及び樋野先生から安全な機械の使用や作業方法について助言した。

(助言)

### ●刈払機

- ・飛散物防護カバーの位置は、純正の刃に対して設計されているので、それ以外の刃を使用する際には特に、保護具等による自分の身を守る対策が重要となる。
- ・チップソーやナイロンコードなど、刃の種類によって、はね方が異なる。
- ・灌木も切るために鋸刃を使用する場合、キックバックのリスクが高い。刈払機の取付部が腰に固定されるベルトを使用することで、自分の足に刃が届きづらくなり、リスクを抑えられる。

### ●ウイングモア、スパイダーモア

- ・飛散物防護カバーは消耗品で、劣化して隙間できてくる。共同利用する機械の定期的なメンテナンスは重要。
- ・機械が転落しそうになった場合、機械と一緒に落ちないように、万が一のときは機械から手を放すルールが必要。



写真6 刈払機



写真7 ウイングモア



写真8 スパイダーモア

## ● 共通

- ・「指差し呼称」を行い、安全確認を実施する。  
(刈払機の刃の締付状況、カバーの取付状況、エンジン始動前の周囲の安全確認など)

### 1 1. 意見交換

再び屋内に会場を移し、西條係長の司会により、ヒヤリハットアンケート結果や現地点検を踏まえて、積ユニット長並びに樋野先生等専門家が改善策などについて助言しながら意見交換を行った。

また、安全への取り組みは、地域の人からの信頼にもつながることを強調し、付箋を配布して、気づきや改善点を書き出してもらい共有を促した。

(助言)

- ・他産業では、作業計画、作業手順書（マニュアル）を作成している（作業の明文化）。  
準備作業（下見等）、本作業、後片付け作業を整理することで、重大事故の予防に繋がる。
- ・共通の保護具を使用するなど、仲間意識を高める工夫をして、組織的な取り組みを展開することで、全体の安全意識の向上が期待できる。
- ・1人作業の場合、日時、場所、作業内容などを家族や仲間と共有する仕組みを設ける。

(気づき)

- ・2人作業の場合には、作業前後にお互い連絡を取り合って1日の予定を共有するようにしている。
- ・刈払機を使用する際は、ヘルメットを着用している。  
ただし、ヘルメットや保護めがねを着用すると夏場は特に暑いので油断しやすい。
- ・ハチに刺されることがあったので、補助治療剤（アドレナリン自己注射製剤）を所持しておく。

## ● 参加者から出された改善項目（作業時の注意点）

- ・仕組み（ルール）をつくる（夕方の作業は〇時までにする、など）。
- ・作業の慣れは怖い。指差し呼称は必要。
- ・レバーに服が引っかかる意見が多かったので、服装（足元を含む）に気を配る。
- ・1人作業時、作業場所の共有を図る。



写真10 他産業のノウハウを生かした助言を行う樋野先生



写真11 豊富な事例を交えて助言を行う積ユニット長（中央）と紺屋上級研究員（右）

- ・事前準備をしっかり行う（作業内容に合わせた服装や保護具の着用）。
- ・田んぼの法面での作業時は、スパイクを使用する。
- ・ナイロンコードを使用すると小石が飛散しやすいため、保護めがねを使用する。
- ・機械のメンテナンス（作業前後、保守点検）に対する意識をもっと高める。
- ・「現在、作業中」等のノボリを設置する。
- ・作業計画をしっかり立てる。
- ・夕方は、早めに作業を終える（夕方の事故が多い）。
- ・機械の清掃を徹底し、コンディションを保つ。
- ・保護具の着用を徹底する。
- ・万が一、事故が発生した場合、すぐに誰かに知らせる仕組みを設ける。
- ・作業前後の機械の点検を徹底する。
- ・KY（危険予知）活動の実施。

## 1 2. 講評

樋野先生からは、他産業では「安全衛生方針」を作成していることを例に挙げ、組織的な「ルール化」の重要性を強調された。

続いて、積ユニット長は、一人ひとりの問題意識は高いので、仲間内の仕組みづくりを進め、改善項目を実行に移すための枠組みが大事であることを述べた上で、仕組みができることで、意見や気づきの共有化が進み、お互いに声をかけあえる雰囲気が醸成されることを期待された。

さらに紺屋上級研究員から、今日の研修で得られた気づきを意識しながら、ぜひ指差し呼称を実施し、継続して改善に取り組んでほしいと期待の言葉が寄せられた。

## 1 3. 閉会の挨拶

長住会長より、各自の気づいた改善点をぜひ実行に移してほしい。また、今日参加できなかった農業者に対しても情報共有などフォローをお願いしたいと、閉会の言葉を述べられた。なお、今後の研修会では、修了証が発行されるとよい、といった要望も寄せられた。

## 1 4. 担当者（西部総合事務所）の所感

とても話しやすい雰囲気、参加者のヒヤリハット（農作業事故体験）エピソードを交えた研修会となり、充実したものとなった。長住会長のコメントにもあったが「実践すること」まで行うことが出来なければ研修効果は薄いと思うので、最後までフォローしていきたいと思う。また、今回のような研修会形式のノウハウを今後の研修会にも活かしていきたい。

## 15. 農業者間の情報共有の促進

今後、とっとり農業戦略課及び西部総合事務所、日野町など関係機関の支援により、今回の研修内容を活かしながら、農作業安全宣言作成と欠席者への研修共有を兼ねた反省会を冬期におこない、来年の春農繁期からの実践を目指しており、地域ぐるみの啓発活動として継続的な取り組みが期待される。また、出席者以外の農業者にも情報共有を図っていくことで、今後、他地域への展開も期待される。

## 「ヒヤリハット体験あるあるチェック」アンケート

(日付)

(回答者)

※機械の種類ごとに以下の作業中のヒヤリハットの体験に近いものがあれば右欄にチェックを入れてください。

また、近いものがなければその他の欄に簡単にヒヤリハットの内容を記入してください。

1	刈払機	・刈払機を運ぶ際に、不意に刈刃に触れてしまった。		0
2		・エンジンをかけたら、刈刃が回り出した。		0
3		・エンジンをかけたまま置いておいたら、刈刃が回っていたり、振動で機体が動いた。		0
4		・刈払い作業をしている場所に空き缶などが落ちていた。		0
5		・草が詰まりやすく、飛散物防護カバーをずらした、外した。		0
6		・つい保護めがねをしなくて作業してしまった。		0
7		・刈払機で跳ねた石などが自分に飛んできてケガをした、しそうになった。		0
8		・刈払機で跳ねた石などが飛んで周囲の人や物を傷つけた、つけそうになった。		0
9		・足元の傾斜が大きく、滑りそうになった。		0
10		・足元の凸凹などで足を取られたりつまずいたりして、転びそうになった。		0
11		・刈刃が地面に当たりキックバックして足を切りそうになった。		0
12		・刈刃が石や水面に当たり、とんでもない方向に跳ねた。		0
13		・人に呼ばれたので振り向いたら、刈払機を相手に向けていた。		0
14		・エンジンを切らずに絡みついた草を取り除こうとしたら、刈刃が動き出した。		0
15		・作業を早くするため、左右往復刈りを行っている		0
16		・長時間の作業で握力がなくなった、または音が聞こえにくくなった。		0
17		・刈刃の交換や点検の際に、不意に刈刃に触れてしまった。		0
18		・その他 ( )		0
小計			0	0
合計			0	0

1	機種共通	・乗降時に滑って転落しそうになった、飛び降りてしまった。		0
2		・衣服が操作レバーに引っかかった。		0
3		・道路走行中、他の車や周囲と接触した、またはしそうになった。		0
4		・アユミ板の上やほ場の出入りの際に変速をしたり操舵をしたりしてしまった。		0
5		・作業の様子を見ようと、機械が動いた状態で運転席から降りた。		0
6		・カバーを外したまま、機械を動かしてしまった。		0
7		・作業中、居眠りをしてしまった、暑くてボーッとしたり、頭痛がしたり吐き気がしたりした。		0
8		・作業中、周囲の補助者とぶつかりそうになった。		0
9		・子供など他の人を乗せて運転した。		0
10		・エンジンを止めずにベルト等の点検や注油作業、ゴミなどの絡み除去をしてしまった。		0
11		・2人以上で作業をしていて、相手が死角にいるときにエンジンを始動してしまった。		0
12		・くわえたばこで燃料補給をした。		0
13		・その他 ( )		0
小計			0	0
合計			0	0

注：アンケートの各項目が対策一覧の各項目に対応